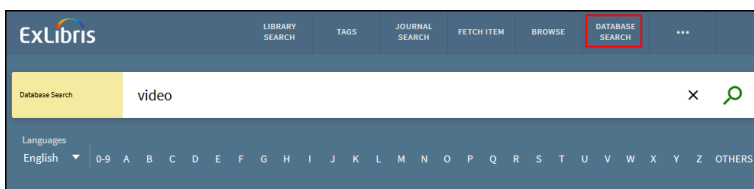


## データベース検索

### はじめに

データベース検索ページ(新しいPrimo UIのみ)では、数字(0-9)、文字(A-Z)、または他の非ラテン文字(その他)で始まるデータベースをユーザーが参照したり検索したりできます。[言語]ドロップダウンリストでは、検索ボックスの下にリストされているリンクの言語を指定できます。設定情報については、「[一般設定](#)」を参照してください。拡張DB検索機能を有効にすると、ユーザーはすべてのデータフィールド(タイトルだけでなく)とカテゴリで検索できます(「[拡張DB検索](#)」の参照)。

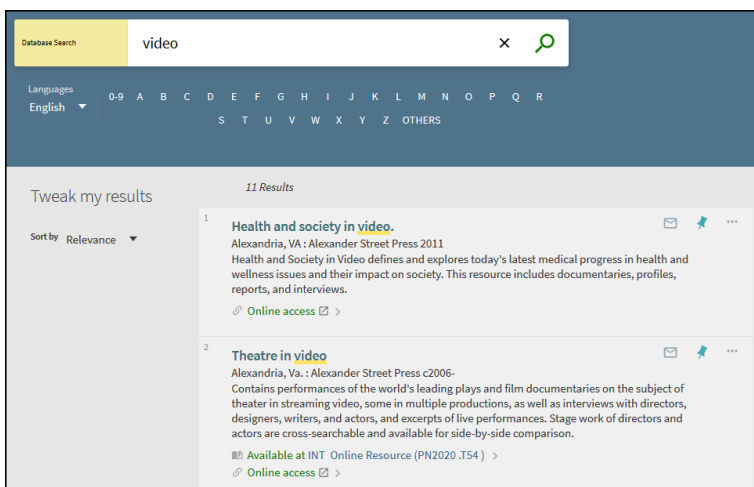


### データベース検索

#### Note

Primoは、Primo VEと異なり、Almaで有効になっているデータベースについてオートコンプリート候補を提供しません。

1ページあたりの結果の上限は20件(変更不可)で、各結果には、タイトル、出版者、日付、説明、利用可否、およびアクション(書誌情報やEメールなど)が含まれます。

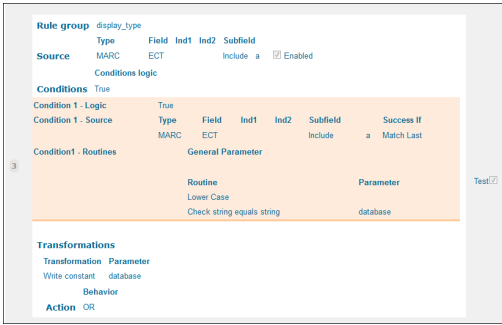
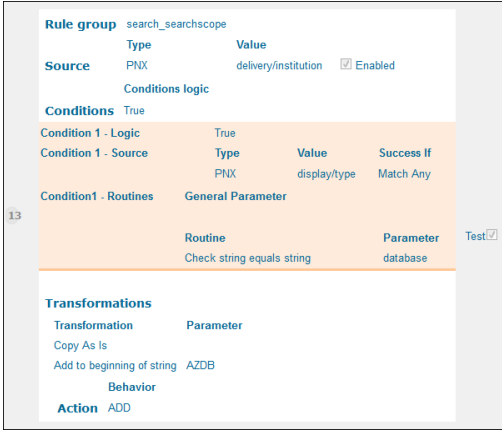


データベースのカテゴリが無効化されているデータベース検索結果ページ

# DB検索の一般的な構成

[データベース検索]ページをサポートする一般的なバックオフィス設定について、下表で説明します。

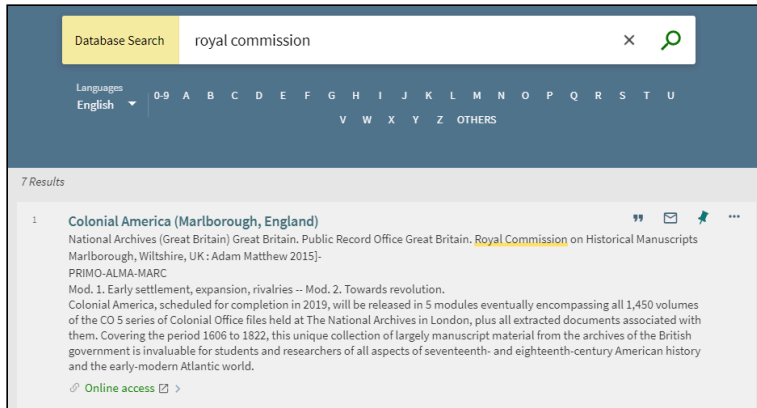
データベース検索の設定オプション

要素	説明
正規化ルール	<p>使いやすい正規化ルールは、この機能をサポートするためのAlma MARCテンプレートにあります。この機能を他のソースに提供するには、次のマッピングを含める必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データベースのソースレコードをPrimoのデータベースリソースタイプにマッピングします。たとえば、次の設定は、ECTサブフィールドaを使用するAlmaソースレコードをマッピングします。</li> </ul>  <p>リソースタイプルールを追加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データベース専用の検索範囲を作成します(AZDB &lt;institution&gt;)。</li> </ul>  <p>検索範囲ルールを追加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ファセット/atozフィールドに関する次のルールが、A-Zの値のリストを介して検索するためにシステムが使用するA-Zファセットを作成します。ファセットの内容は、AZリストへの割り当て変換を使用し、専用の正規化テーブル(A-Z文字の変換)を介して正規化されたタイトルの最初の文字でなければなりません。</li> </ul> 

要素	説明
	<p>ファセットのルールを追加</p>
<p>ビューウィザード - メインメニュータイトル(変更)</p>	<p>新しいUIのメインメニューに表示されるデータベース検索リンクを定義します。</p>  <p>ビューウィザード - メインメニュータイトルの編集</p>
<p>検索タイトルのコードテーブル</p>	<p>次のコードで、データベース検索に関連付けられた表示ラベルを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <code>default.nui.databasesearch.title</code> : データベース検索</li> <li>• <code>default.nui.databasesearch.searchbox.helpabcChecked</code> : 文字{0}が選択されます。{0}で始まるタイトルを提示します</li> <li>• <code>default.nui.databasesearch.searchbox.helpabc</code> : {0}で始まるタイトルを検索します</li> <li>• <code>default.nui.databasesearch.searchbox.help</code> : データベース名を入力します</li> <li>• <code>default.nui.databasesearch.searchbox.expanded</code> - 検索語を入力します</li> </ul>
<p>ビューラベルのコードテーブル</p>	<p>次のコードで、メインメニューのデータベース検索に関連付けられた表示ラベルを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <code>default.nui.mainmenu.label.databasesearch</code> : データベース検索</li> <li>• <code>default.nui.mainmenu.description.databasesearch</code> : データベース検索</li> </ul>
<p>AからZまでのリストのコードテーブル</p>	<p>[データベース検索]検索ボックスの下に表示されるA-Zリンクに関連付けられたラベルを定義します。</p>

## 拡張DB検索

拡張DB検索機能はデフォルトで有効になっており、DB検索をDBカテゴリと、タイトルフィールドだけでなくすべてのフィールド（件名や作成者など）に拡張します。



## 拡張データベース検索

### 構成オプション - 拡張DB検索

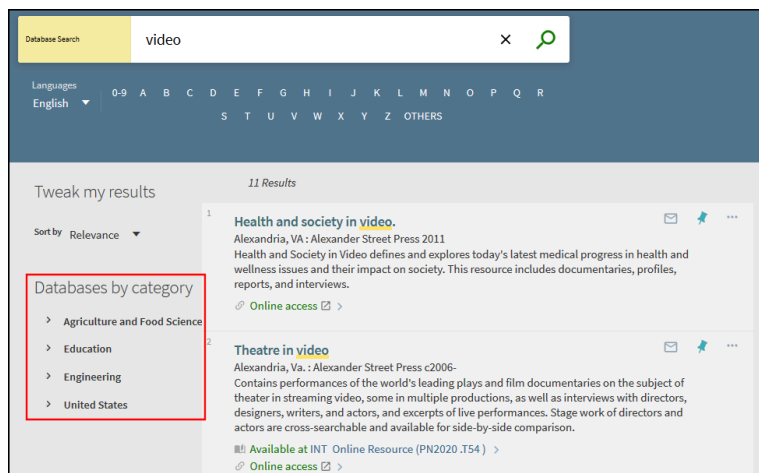
この機能はデフォルトで有効になっていますが、DBカテゴリで検索するには、追加の構成と索引の再作成が必要です。下表で、この機能に関連する設定オプションのリストを示します。

設定メニュー	説明																									
機関のプロパティマッピングテーブル ( <a href="#">Primoホーム</a> > <a href="#">[詳細設定]</a> > <a href="#">[すべてのマッピングテーブル]</a> )	拡張されたデータベース検索機能は、デフォルトで有効になっています。タイトルのみで検索する場合は、新しい <b>expanded_db_search</b> パラメーターを <b>false</b> に設定します。																									
正規化セットエディタ ( <a href="#">Primoホーム</a> > <a href="#">[ローカルデータ]</a> > <a href="#">[正規化セット]</a> )	<p>次のテンプレートの<b>search/dbsearch</b>フィールドを使用すると、ソースレコードからDBカテゴリをマップできます：<b>Alma MARC - テンプレート</b>および<b>Alma UNIMARC - テンプレート</b>。</p> <p>DBカテゴリによる検索を有効にするには、次のマッピング情報を含む<b>search/dbsearch</b>の正規化ルールを作成する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソースのDBカテゴリ情報を保持するMARCフィールド（6XXおよび9XX）。</li> <li>コードテーブル変換を使用します。これは、DB検索コードテーブルで定義した翻訳情報をマップします。</li> </ul> <p>例：</p> <div data-bbox="548 1455 1052 1629" data-label="Form"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Type</th> <th>Field</th> <th>Ind1</th> <th>Ind2</th> <th>Subfield</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MARC</td> <td>699</td> <td></td> <td></td> <td>Include</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1 Transformation</td> <td colspan="3">Parameter</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Use code table</td> <td colspan="2">DB Search</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>Split Field</td> <td colspan="2">~~</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	Type	Field	Ind1	Ind2	Subfield	MARC	699			Include	1 Transformation		Parameter				Use code table	DB Search				Split Field	~~		
Type	Field	Ind1	Ind2	Subfield																						
MARC	699			Include																						
1 Transformation		Parameter																								
	Use code table	DB Search																								
	Split Field	~~																								
DB検索コードテーブル ( <a href="#">Primoホーム</a> > <a href="#">[詳細設定]</a> > <a href="#">[すべてのコードテーブル]</a> )	DBカテゴリによる検索を許可する場合は、ドット (.)、アンパサンド (&)、およびアポストロフィ (') の文字を含むDBカテゴリのコードと翻訳を追加します。詳細については、 <a href="#">「カテゴリの表示ラベルと翻訳の作成」</a> を参照してください。																									
タイトルコードテーブルの検索 ( <a href="#">Primoホーム</a> > <a href="#">[詳細設定]</a> > <a href="#">[すべてのコード]</a> )	次のコードは、拡張DB検索機能が有効になっている場合に <a href="#">[データベース検索]</a> ページの検索ボックスに表示される表示ラベルを定義します。																									

設定メニュー	説明
テーブル]	default.nui.databasesearch.searchbox.expanded - 検索語を入力します

## カテゴリ別にデータベースを表示する

データベース検索ページが設定されると(「[データベースのレコードにカテゴリを割り当てる](#)」を参照)、ユーザーは、特定のカテゴリとサブカテゴリをクリックすることで、データベースのリストを3つのレベルまで表示することができます。



データベースのカテゴリが有効化されているデータベース検索結果ページ

[データベース検索]ページが開くと、カテゴリには第1のカテゴリレベルのみが表示されます。ユーザーはアイコンをクリックして、



カテゴリの次のレベルを表示できます。

## データベースレコードにカテゴリを割り当てる

この機能を使用するには、最大3つのカテゴリレベルを含むことができるデータベースカテゴリを、ローカルデータベースの書誌レコードに適用する必要があります。

ローカルデータベースレコードにカテゴリを割り当てるには：

1. Almaで、ローカルな書誌レコードのデータベースカテゴリの保存先であるローカルな書誌フィールドを選択し(たとえば、MARC21では6XXや9XXフィールドを選択します)、Almaの顧客パラメータページのdb\_categories\_fieldパラメータにそのフィールドを入力します([設定メニュー]>[リソース]>[一般]>[その他の設定])。

### Note

管理者が上記のパラメータを更新するには、次の役職のいずれかが必要です。

- 。 目録管理者

- 。リポジトリ管理者
- 。総合システム管理者

- ローカルデータベースごとに、メタデータエディタ([リソース]>[目録]>[メタデータエディタを開く])を使用して、選択したMARCフィールドに次のサブフィールドを追加し、\$\$a(レベル1)、\$\$b(レベル2)、\$\$c(レベル3)の最大3つのカテゴリレベルを割り当てます。たとえば：

```
699 ##$aEducation $bMedical $cFitness
699 ##$aEducation $bHealth
```

## Note

上記の例で示したように、1つのデータベースは複数のカテゴリ/サブカテゴリに属することができます。

DBカテゴリの翻訳を提供し、**拡張DB検索機能**（デフォルト）の使用を計画している場合は、すべてのカテゴリにドット（.）が含まれていないことを確認してください。たとえば、**M.B.A.**カテゴリを表示する場合は、ソースレコードのすべてのドットをアンダースコア（\_）に置き換えます。例：

```
699 ##$aM_B_A_
```

- Primoでのディスカバリーのためにレコードのカテゴリを更新するには、ディスカバリーフィルターの**DBカテゴリ**ファイル作成ジョブを待ちます([管理]>[ジョブの監視]>[スケジュールされたタブ])。このジョブは毎日実行されるようにスケジュールされています。詳細については、「[Almaでのスケジュールされたジョブ](#)」を参照してください。
- Primoで正規化ルール設定を編集し、ソースレコードからカテゴリ情報をPrimoにマッピングするために新しいファセットまたはdbcateroryルールを更新し、**変更**をフロントエンドに展開します（Primoホーム>[詳細設定]>[完全正規化ルールの設定]）。サブフィールドの区切り文字（U + 2500）を含める必要があることに注意してください。

たとえば：

**Alma MARC**テンプレートからファセット/dbcaterory正規化ルールを更新する

- 拡張DB検索機能**を使用している場合は、**search/dbsearch**ルールを更新して、ソースレコードからPrimoにカテゴリ情報をマップしてから、**変更**をフロントエンドに展開します（Primoホーム>[詳細設定]>[完全正規化ルール設定]）。詳細については、「[拡張DB検索](#)」を参照してください。

6. 機関ウィザード (**[Primoホーム]** > **[継続的な設定ウィザード]** > **[機関ウィザード]**)、基本配信URLセクションの新しいDBカテゴリフィールドのAPI基本URLで使ったのと同じ値を入力します。

**Delivery Base URLs:**

MetaLib	<input type="text" value="http://qa-server02.corp.exlibrisgroup.com:8331?user_name=mla"/>
SFX	<input type="text"/>
ILS	<input type="text"/>
Alma	<input type="text" value="http://il-primoqa-alma01.corp.exlibrisgroup.com:1801/view/ures"/>
Rosetta	<input type="text"/>
Alma Services Page URL	<input type="text" value="http://il-primoqa02.corp.exlibrisgroup.com:1701/openurl/018B_II"/>
Digital Repository	<input type="text" value="http://digitool-demo.exlibrisgroup.com:1801/webclient"/>
Digital Repository 2	<input type="text"/>
Digital Repository 3	<input type="text"/>
RTA	<input type="text" value="http://il-primoqa-alma01.corp.exlibrisgroup.com:1801/view/publi"/>
API	<input type="text" value="http://il-primoqa-alma01.corp.exlibrisgroup.com:1801"/>
EZproxy	<input type="text"/>
Collection	<input type="text" value="http://il-primoqa-alma01.corp.exlibrisgroup.com:1801"/>
DB Category	<input type="text" value="http://il-primoqa-alma01.corp.exlibrisgroup.com:1801"/>

機関ウィザードのDBカテゴリ基本URL

**Note**

ビューでカテゴリを無効にする場合は、このフィールドをクリアします。

7. 通常のパイプを実行し、索引を再作成して、新しいPrimo UIの[データベース検索]ページにデータベースカテゴリを表示します。

**データベース検索ページの表示ラベルのカスタマイズ**

DB検索コードテーブル (**[Primoホーム]** > **[詳細設定]** > **[すべてのコードテーブル]** > **[フロントエンド]**サブシステム)は、データベース検索ページに表示される表示ラベル (すべての顧客定義のカテゴリを含む) を定義します。次のラベルは初めからデータベース検索ページに表示されます。

コード	説明
default.dbcategories.databases	データベースを検索します。
default.dbcategories.description	データベースを検索するには、次の手順を実行します。
default.dbcategories.option1	検索ボックスにキーワードを入力します。

コード	説明
default.dbcategories.option2	上の文字をクリックしてください。
default.dbcategories.option3	カテゴリ別にデータベースを参照します。
default.dbcategories.results	見つかったデータベース
default.dbcategories.title	カテゴリ別データベース

## カテゴリの表示ラベルと翻訳の作成

データベース検索ページに表示されるラベルに加えて、DB検索コードテーブルを使用すると、カテゴリに使用されている表示ラベルを翻訳できます。カテゴリとその翻訳に示される表示ラベルは、MARCサブフィールドからマッピングされた値に基づいています。別の表示値を指定したり、カテゴリの翻訳を提供するには、各言語について行の定義を作成する必要があります。

- コードソースレコードからマッピングされるMARCサブフィールドの値を指定します。マッピングされた値の各スペースがアンダースコア(\_)に変換されていることを確認してください。たとえば、カテゴリが**Medicine and Technology**の場合、このフィールドの値は**default.dbcategories.Medicine\_and\_Technology**に設定する必要があります。

拡張DB検索機能（デフォルト）を使用する場合：

- ソースで定義されているすべてのカテゴリにドットが含まれていないことを確認し、適切に索引が作成されるように、DBカテゴリコードテーブルでコードを同じように構成します。たとえば、**M.B.A.**を設定する場合は、すべてのドットをアンダースコア(\_)に置き換えます。

```
default.dbcategories.M_B_A_
```

- アンパサンド(&)とアポストロフィ(')を含むDBカテゴリごとに、これらの文字をHTML文字コードに置き換える追加の行をDBカテゴリに作成します。たとえば、**Guns & Roses**と**Women's and Gender Studies**のカテゴリを定義する場合は、それぞれに次のコードを定義します。

```
default.dbcategories.Guns_&_Roses
default.dbcategories.Guns_&amp;_Roses

default.dbcategories.Women's_and_Gender_Studies
default.dbcategories.Women&pos;s_and_Gender_Studies
```

- 説明** – UIに表示するカテゴリ/翻訳の値を指定します。たとえば、**Medicine and Technology**のスペイン語訳を作成する場合は、**Medicina y Tecnología**を指定します。
- 言語** – 翻訳が表示されるブラウザの言語を指定します。

**Primo Back Office**  
[Primo Home](#) > [Advanced Configuration](#) > [All Code Tables](#)

> **Code Tables**

Update for Owner:  Sub System:  Table Name:

**Code Table Rows**

Enabled	Code ▲▼	Description ▲▼	Language ▲▼
	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value="med"/>	<input type="text" value="All"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text" value="default.dbcategories.Medicine_&amp;_Technology"/>	<input type="text" value="Medicine &amp; Technology"/>	<input type="text" value="en_US"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text" value="default.dbcategories.Medicine_&amp;_Technology"/>	<input type="text" value="Medicina y Tecnología"/>	<input type="text" value="es_ES"/>

Table Description:

カテゴリの英語とスペイン語の表示ラベル

---

## Note

行の定義が存在しない場合、PrimoはMARCサブフィールドの値を表示します。

---